

1989年

- Atsuta, S., M. Sakai, and M. Kobayashi (1989): Observations on a myxosporean in the kidneys of masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (サクラマスの腎臓中の粘液胞子虫の観察). *Physiol. Ecol. Japan, Spec. Vol. 1*: 599-604. (英文)
- Awakura, T. (1989): Parasitology of masu salmon, *Oncorhynchus masou*, in northern Japan. (北日本におけるサクラマスの寄生虫). *Physiol. Ecol. Japan, Spec. Vol. 1*: 605-614. (英文)
- 長谷川誠三 (1989): 能登半島以東海域におけるサクラマスの漁況予測. 日本海ブロック試験研究集録, (14): 39-46. 日本海区水研
- Hatai, K., and S. Kubota (1989): A visceral mycosis in cultured masu salmon (*Oncorhynchus masou*) caused by a species of *Ochroconis*. *J. Wildlife Diseases*, 25(1): 83-88. (英文). 3959
- Hirata, T., A. Gotoh, F. Yamazaki, and K. Hamada (1989): Growth and smoltification of reared juvenile masu salmon, *Oncorhynchus masou* BREVOORT. (飼育サクラマス幼魚の成長とスモルト化). *Physiol. Ecol. Japan, Spec. Vol. 1*: 161-166. (英文)
- 広井 修 (1989): 遡河性魚類の資源増大をめざして -サクラマスを中心とする複合生産システム. 海洋牧場 マリーンランディング計画(農林水産技術会議事務局編), 60-109. 恒星社厚生閣.
- 今田和史 (1989): サクラマスの海中飼育と海水温条件. 魚と水, (26): 22-26.
- 石島久男・加賀豊仁・沢田守伸 (1989): ヤマメ放流試験. 栃木水試業務報告書(昭和63年度): 64-72.
- Kaeriyama, M. (1989): Comparative morphology and scale formation in four species of *Oncorhynchus* during early life. (初期生活期のサケ属魚類4種における形態比較と鱗形成). 魚類学雑誌, 35: 445-452. (英文)
- Kasahara, N., H. Yamada, K. Soyano, J. Saitoh, M. Nagata, and K. Yamauchi (1989): Physiological and behavioural changes in the accelerated underyearling broodstock masu salmon, *Oncorhynchus masou*, during smoltification. (池産サクラマス0+スモルトのスモルト変態期における生理学的, 行動学的変化). *Aquaculture*, 82: 21-28. (英文)
- 加藤文男 (1989): 福井県河川に生息するサクラマスの生活史. 福井市立郷土自然科学博物館研報, 36: 87-106.
- 加藤禎一 (1989): 北海道におけるサケ・マス類海中養殖の可能性と問題点. 育てる漁業, 197: 2-8. 北海道栽培漁業振興公社.
- Kimura, S. (1989): The yamame, land-locked masu salmon of Kyushu Island, Japan. (九州における陸封型サクラマス, ヤマメについて). *Physiol. Ecol. Japan, Spec. Vol. 1*: 77-92. (英文)
- 木曾克裕・熊谷五典 (1989): 三陸地方南部大川水系における河川生活期サクラマスの食物の季節変化. 東北水研研報, (51): 117-133.
- 小池利通・岩橋正雄 (1989): サクラマス親魚の長期蓄養について. 新潟県内水試研報, 15: 25-30.
- Kojima, H., and K. Sugiwaka (1989): Effects of summer floods on residency rate and net productivity of an underyearling population of masu salmon in Atsuta River. (夏季の出水が厚田川のサクラマス当歳魚個体群の河川残留度合と純生産量に与えた影響). *Physiol. Ecol. Japan, Spec. Vol. 1*: 151-160. (英文)
- Lin, Y-S., and K-H. Chang (1989): Conservation of the Formosan landlocked salmon *Oncorhynchus masou formosanus*

- in Taiwan, a historical review. *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 647-652. (英文)
- Mayama, H. (1989): Seasonal changes in the infection of *Acanthocephalus* sp. (Acanthocephala) in juvenile masu salmon *Oncorhynchus masou*. (サクラマス幼魚における鉤頭虫(*Acanthocephalus* sp.) 寄生の季節変化). 日本水産学会誌, 55: 1517-1522. (英文)
- Mayama, H. (1989): Masu salmon management in Hokkaido; a review of smolt and fingerling release experiments. (サクラマス資源培養について; スモルト放流と秋季放流結果のレビュー). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 673-682. (英文)
- 真山 紘 (1989): サクラマス(*Oncorhynchus masou*)の交換移殖試験. 1 北海道オホーツク沿岸の斜里川と日本海沿岸の尻別川のサクラマスの生物特性の比較. さけ・ますふ化場研報, (43): 79-97.
- 真山 紘 (1989): 人工ふ化放流サクラマス(*Oncorhynchus masou*)稚魚に見られた河川内での分布の性差(予報). さけ・ますふ化場研報, (43): 115-118.
- 真山 紘・木村清朗 (1989): サクラマス・ヤマメ 山溪カラー名鑑「日本の淡水魚」, 156-168.
- 真山 紘・野村哲一・大熊一正 (1989): サクラマス(*Oncorhynchus masou*)の交換移殖試験 2. 地場産魚と移植魚の降海移動と親魚回帰の比較. さけ・ますふ化場研報, (43): 99-113.
- 茂木 実・大塚博正・松井資元・小西浩司 (1989): 唐沢川におけるヤマメ放流試験-III. 群馬農業研究, E 水産第 5 号: 17-27.
- 森川 進 (1989): セっそう病に関する研究-XVII. サクラマスおよびアマゴのスモルトおよびパーの細菌性疾病に対する感受性の差異. 岐阜県水試研報, (34): 9-15.
- Nagasawa, K. (1989): Microbial and fungal diseases in masu and amago salmon and charr cultured in Japan: a review. (わが国における養殖ヤマメ, アマゴ, イワナにおける細菌性および水生菌性疾病). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 547-558. (英文)
- Nagata, M. (1989): Satiation and gastric evaluation in juvenile masu salmon. (サクラマス幼魚の飽食量と消化速度). *Nippon Suisan Gakkaishi*, 55(9): 1523-1528. (英文)
- Nagata, M. (1989): The occurrence of bimodality in the length frequency distribution, and its relation to growth and density in a juvenile masu salmon population in a Hokkaido stream. (北海道の河川に生息するサクラマス幼魚にみられるバイモーダルな体長頻度分布と生長及び分布密度との関連). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 141-150. (英文)
- 永田光博・坂本博幸 (1989): サクラマスの卵放流について. 魚と水, (26):12 -21.
- Ogata, H. and T. Murai (1989): Effects of dietary fatty acid composition on growth and smolting of underyearling masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (0 年魚サクラマス幼魚の成長とスモルト化に与える飼料中の脂肪酸組成の影響). *Aquaculture*, 82: 181-189. (英文)
- Okazaki, T. (1989): Population structure of masu salmon during their wintering migration along the coastal waters of northern Japan. (北日本沿岸域に冬季に回遊するサクラマスの集団構造). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 359-369. (英文)
- Okumoto, N., K. Ikuta, K. Aida, I. Hanyu, and T. Hirano (1989): Effects of photoperiod on smolting and hormonal secretion in masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (光周期がサクラマスのスモルト化とホルモン分泌に与える影響). *Aquaculture*, 82(1989): 63-76. (英文)
- Sakai, M., S. Atsuta, and M. Kobayashi (1989): Bacterial kidney disease in masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (サクラ

マスの細菌性腎臓病). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 577-586. (英文)

Saneyoshi, M. (1989): Effect of recombinant chum salmon growth hormone (rSGH) on juvenile cherry (masu) salmon, *Oncorhynchus masou*, growth. (組み換えサケ成長ホルモン(rSGH)のサクラマス幼魚の成長に与える影響). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 511-514. (英文)

笹川康雄 (1989): 淡水動物の視覚採餌実験における種間順位および釣獲順序. 日本水産学会誌, 55: 2085-2090.

Sasaki, S., T. Ota, and T. Takagi, T. (1989): Compositions of fatty acids in the lipids of masu salmon and pink salmon, and latter canned flesh. (サクラマス, カラフトマスおよびその缶詰の脂質の脂肪酸組成). 日本水産学会誌, 55(9): 1655-1660. (英文)

Suzuki, K., H. Fuda, and D. K. Sakai (1989): Interrelation between complement and immune response associated with maturation of masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (サクラマスの成熟にともなう補体および免疫応答能). 道立水産孵化場研報, (44): 51-56. (英文)

鈴木邦雄・田中繁雄・田中深貴男 (1989): 入川におけるヤマメの現存量推定. 埼玉水試研報, 48: 1-8.

Takahashi, G. (1989): Status of charr and masu salmon management in Japan; a call for conservation guidelines. (日本におけるイワナとサクラマスの資源管理の現状; 保全のためのガイドライン). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 683-690. (英文)

田中深貴男・鈴木邦雄・田中繁雄 (1989): 円形池の流速がヤマメ0年魚の飼育成績に与える影響. 埼玉水試研報, 48: 72-75.

Tsukamoto, K., Y. Seki, T. Oba, M. Oya, and M. Iwahashi (1989): Application of otolith to migration study of salmonids. (耳石を用いたサケ科魚類の回遊研究への応用). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 119-140. (英文)

Urawa, S. (1989): Seasonal occurrence of *Microsporidium takedai* (Microsporida) infection in masu salmon, *Oncorhynchus masou*, from the Chitose River. (千歳川産サクラマスにおける *Microsporidium takedai* (Microsporida) 寄生の季節変化). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol., 1: 587-598. (英文)

Yamazaki, F., J. Goodier, and K. Yamano (1989): Chromosomal aberrations caused by aging and hybridization in charr, masu salmon and related salmonids. (イワナ, サクラマス, その他サケ科魚類における老化卵および種間交雑により生じる染色体異常). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 529-542. (英文)

Yoshimizu, M., T. Nomura, T. Awakura, Y. Ezure, and T. Kimura (1989): Prevalence of pathogenic fish viruses in anadromous masu salmon (*Oncorhynchus masou*) in the northern part of Japan, 1976-1987. (北日本における潮河性サクラマスからの病原性ウイルスの検出, 1976-1987年). *Physiol. Ecol. Japan*, Spec. Vol. 1: 559-576. (英文)

1988年

Arai, K. (1988): Viability of allotriploids in salmonids. (サケ・マス類異質三倍体の生存性). 日本水産学会誌, 54(10): 1695-1701. (英文)

Ermolenko, A. V. and T. E. Butorina (1988): Parasite fauna of masu salmon from the Primorye Territory. (沿海州産サクラマスの寄生虫相). *Parazitologia*, 22(4): 278-285. (ロシア語)

Fryer, J. L., R. P. Hedrick, J. W. Park, and Y. C. Hah (1988): Isolation of *Aeromonas salmonicida* from masu salmon in the Republic of Korea. *J. Wildlife Diseases*, 24(2): 364-365. (英文). #3960

長谷川誠三・永澤 亨 (1988): サクラマス来遊量予測方法の検討. 昭和 62, 63 年度マリーンランディング計画プログラム・レポート サクラマス (8): 142-151, 北海道さけ・ますふ化場.

- 長谷川誠三・永澤 亨 (1988): 日本海中南西部のサクラマス漁況予測の検討. 昭和 62, 63 年度マリーナランチング計画プロGRESS・レポート サクラマス (8): 155-160, 北海道さけ・ますふ化場.
- Hirata, T., A. Goto, and F. Yamazaki (1988): Individual growth and smoltification of juvenile masu salmon, *Oncorhynchus masou* Brevoort, under rearing conditions. (飼育環境下でのサクラマス幼魚の個体別成長とモルト化). *J. Fish Biol.* 32: 77-84. (英文)
- 広井 修 (1988): つくり育てる漁業 -マリーナ・サクラマス-. 研究ジャーナル, 11(2): 24-31.
- 飯野哲也・田中深貴男・田中繁雄 (1988): 温度刺激によるヤマメ 3 倍体魚の作出条件の検討. 埼玉水試研報, 47: 30-34.
- 笠原恵介・末永浩章・藤原 健・渡辺誠樹 (1988): 海水飼育によるサクラマス親魚の育成 -1987 年の飼育結果, 及びモルト幼魚の育成と標識放流試験. 昭和 62, 63 年度マリーナランチング計画プロGRESS・レポート サクラマス(8): 295-317, 北海道さけ・ますふ化場.
- 笠原 昇 (1988): サクラマス種卵生産過程で出現する二型の事業規模での意義について. 魚と水, (25): 16-18.
- 笠原 昇・伴 真俊・渡辺 寛・山内皓平 (1988): 海水飼育された池産および天然サクラマスの海水適応能と成長. 道立水産孵化場研報, (43): 81-84.
- 煙山 彰・支倉 理・山内清三 (1988): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学的特性(昭和 57-昭和 63 年). 昭和 62, 63 年度マリーナランチング計画プロGRESS・レポート サクラマス(8): 263-276, 北海道さけ・ますふ化場.
- 煙山 彰・支倉 理・山内清三 (1988): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学的特性(昭和 63 年). 昭和 62, 63 年度マリーナランチング計画プロGRESS・レポート サクラマス(8): 277-294, 北海道さけ・ますふ化場.
- 木村英造 (1988): 台湾ヤマメ・サラマオマスの保護を語る. 淡水魚保護, 創刊号: 76-78.
- 木曾克裕 (1988): 三陸地方の河川および沿岸域におけるサクラマスの生物学的特性と生活史に関する情報. 昭和 62, 63 年度マリーナランチング計画プロGRESS・レポート サクラマス(8): 242-253, 北海道さけ・ますふ化場.
- 木曾克裕・小坂 淳 (1988): 牡鹿半島周辺海域における海洋生活初期サクラマスの卵巣発達. 日本水産学会誌, 54: 1681-1686.
- 北村隆也・西村 明 (1988): 鱗の鱗紋から推定したサクラマスの尾叉長と成熟卵数との関係. 道立水産孵化場研報, (43): 37-45.
- 小林美樹・岩見俊則・岡田鳳二・永田光博 (1988): サクラマスの生態学的研究 I. 古宇川に放流した池中継代飼育サクラマスの降海行動について. 道立水産孵化場研報, (43): 57-64.
- 小谷祐一 (1988): サクラマス幼魚の餌料となる端脚類 *Themisto japonica* の春季の宮城県沿岸域における分布. 昭和 62, 63 年度マリーナランチング計画プロGRESS・レポート サクラマス(8): 235-241, 北海道さけ・ますふ化場.
- 熊崎 博・田代文男 (1988): アマゴの増殖に関する研究-XXVI. アマゴ及びヤマメの相分化に及ぼす飼育条件の影響について. 岐阜県水試研報, (33): 1-20.
- 真山 紘・野村哲一・大熊一正 (1988): 越冬前の秋季に放流されたサクラマス *Oncorhynchus masou* 標識魚のモルト降海と親魚としての回帰. さけ・ますふ化場研報, (42): 21-36.

- 茂木 実・大塚博正・松井資元・黒沢静男・宮原義夫 (1988): 唐沢川におけるヤマメ放流試験-II. 群馬農業研究, E 水産第4号: 91-98.
- 中井 裕・森川 進 (1988): *Oncorhynchus masou virus (OMV)*に関する研究 - I. 岐阜県内で飼育中のサクラマス (*Oncorhynchus masou*)より分離された OMV について. 岐阜県水試研報, (33): 45-48.
- 西村 明 (1988): 耳石によるサクラマス資源解析に関する研究. 魚と水, (25): 45-49.
- 野村哲一・真山 紘・大熊一正 (1988): サクラマス (*Oncorhynchus masou*) の生理学的研究-II 淡水生活期における脂質含量の変化. さけ・ますふ化場研報, (42): 49-58.
- 野村哲一・真山 紘・大熊一正 (1988): サクラマスの降海期, 海洋生活期, 河川遡上期の脂質含量の変化. 昭和 62, 63 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 151-154, 北海道さけ・ますふ化場.
- Ohkuma, K. and T. Nomura (1988): An approach to the efficient enhancement of masu salmon through the release of juveniles into stream. (幼魚の河川放流によるサクラマス資源の効率的増大への取り組み). NOAA, Tech. Rep. NMFS, 102: 151-159. (英文)
- 太田博巳・西村 明・佐々木義隆・民谷嘉治・北村隆也・今田和史 (1988): 海中で飼育したサクラマスの成長について. 道立水産孵化場研報, (43): 77-80.
- 岡崎登志夫 (1988): 冬季に北日本沿岸に出現するサクラマスの集団構造. 昭和 62, 63 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 254-262, 北海道さけ・ますふ化場.
- 斉藤譲二 (1988): 北海道南部沿岸域で漁獲されるサクラマス標識魚について. 魚と水, (25): 19-20.
- 佐々木文雄 (1988): 積丹海域に接岸来遊するサクラマス *Oncorhynchus masou* (Brevoort) 未成魚について. 昭和 62, 63 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 191-234, 北海道さけ・ますふ化場.
- 佐々木文雄・宇藤 均・小林 喬 (1988): モデル海域におけるサクラマス資源の効率的利用と管理 -北部海域-. 昭和 62, 63 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 161-190, 北海道さけ・ますふ化場.
- 征矢野清・山田英明・立野深雪・笠原 昇・山内皓平 (1988): 0 年魚サクラマス (*Oncorhynchus masou*) スモルトの海水適応能に及ぼす甲状腺粉末投与の効果. 北大水産彙報, 39(2): 86-95.
- 関 泰夫・塚本勝巳・岩橋正雄 (1988): サケ・マスの発眼卵・仔魚の耳石標識. 新潟県内水試研報, 14: 13-19.
- 田中寿雄 (1988): サクラマスの海中養殖について. 昭和 62 年度「育てる漁業研究会」講演要旨集, 1-17. 北海道栽培漁業振興公社.
- 田中祐志 (1988): 北海道北部海域におけるスルメイカの生態 第1報 冬期に沿岸域でサクラマスに捕食される幼体スルメイカについて. 北水試研報, 30: 19-23.
- Tsygir, V. V. (Tsigir, V. V.) (1988): Age of masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (サクラマスの年齢について). *J. Ichthyology*, (1): 38-48. (英訳版)
- 上田高嘉・佐藤良三・小林仁道 (1988): 異常胚中に見られたサクラマスおよびニジマス半数体のゲノムの由来. 日本水産学会誌, 54(4): 619-625.
- 吉水 守・佐見 学・木村喬久 (1988): サクラマスおよびシロサケ受精卵中における IHNV の消長に関する研究. 日本水産学会誌, 54(12): 2089-2097.
- 吉沢和俱・秋山裕子 (1988): 染色体操作による魚類の改良種作出研究-IV ヤマメ, ニジマスの染色体倍数化に

おける温度処理および水圧処理の効果(資料). 群馬農業研究, E 水産第 4 号: 87-90.

1987 年

- 伴 真俊・笠原 昇・山内皓平 (1987): 池産サクラマス 0 年魚の銀化に伴う生理的变化. 道立水産孵化場研報, (42): 19-26.
- 伴 真俊・笠原 昇・山内皓平 (1987): 池産サクラマス 1 年魚の銀化に伴う生理的变化. 道立水産孵化場研報, (42): 27-35.
- Dickhoff, W. W. and C. V. Sullivan (1987): Involvement of the thyroid gland in smoltification, with special reference to metabolic and developmental processes. (スモルト化への甲状腺の関与, 特に代謝と発育のプロセスへの関連). *Amer. Fish. Soc. Symposium*, 1: 197-210. (英文)
- Ikuta, K., K. Aida, N. Okumoto, and I. Hanyu (1987): Effects of sex steroids on the smoltification of masu salmon, *Oncorhynchus masou*. *Gen. Comp. Endocrinol.*, 65: 99-110. (英文).
- 加藤文男 (1987): サクラマス群3種のスモルトの形態と *Oncorhynchus ishikawai*. 福井市立郷土自然科学博物館研報, (34): 105-113.
- 煙山 彰・支倉 理・大村礼司 (1987): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学的特性. 昭和 61 年度マリーナランシング計画プログレス・レポート サクラマス(7): 148-162, 北海道さけ・ますふ化場.
- 木曾克裕 (1987): 宮城県沿岸域におけるサクラマス幼魚の降海時期と沿岸生活の期間に関する知見. 昭和 61 年度マリーナランシング計画プログレス・レポート サクラマス(7): 138-147, 北海道さけ・ますふ化場.
- 木曾克裕・熊谷五典・帰山雅秀 (1987): 志津川湾で行った標識放流の再捕結果からみた春季の本州東岸におけるサクラマスの移動. 東北水研研報, (49): 89-101.
- 小島 博・岩田宗彦・宮本真人・黒川忠英 (1987): 異なる銀化過程を経たサクラマススモルト 3 種の海水適応能と血清サイロキシン. 道立水産孵化場研報, (42): 53-56.
- 小谷祐一・木曾克裕・竹内 勇 (1987): 宮城県沿岸におけるサクラマスの漁獲に関する情報とサケ属魚類の水揚げ量の年変動および季節変化. 東北水研研報, (49): 61-71.
- 熊崎 博・田代文男 (1987): アマゴの増殖に関する研究-XXV. アマゴ及びヤマメのスモルト化に及ぼす飼育条件の影響について(2). 岐阜県水試研報, (32): 1-12.
- 黒川忠英・小島 博・中島幹二 (1987): 池中継代飼育サクラマスの回遊と成長. 道立水産孵化場研報, (42): 45-52.
- 松原孝博・伊藤文成・原 彰彦・高野和則 (1987): 採卵後のサクラマスに見られた体腔壁内面の水腫様膨隆. -特に体腔液産生とのかかわりについて-. 北大水産彙報, 38(4): 349-357.
- 真山 紘 (1987): 魚道型実験水路におけるサクラマス幼魚のそ上行動. さけ・ますふ化場研報, (41): 137-153.
- 真山 紘・大熊一正・野村哲一 (1987): サクラマスのスモルト化幼魚の標識放流試験 -1986 年における回帰-. 昭和 61 年度マリーナランシング計画プログレス・レポート サクラマス(7): 19-30, 北海道さけ・ますふ化場.
- 茂木 実・大塚博正・手島千里 (1987): 唐沢川におけるヤマメ放流試験-I. 群馬農業研究, E 水産第 3 号: 44-49.
- Nagasawa, K., S. Urawa, and T. Awakura (1987): A checklist and bibliography of parasites of salmonids of Japan. (日本産サケ科魚類の寄生虫目録). さけ・ますふ化場研報, (41): 1-75. (英文)
- 大久保進一 (1987): 池産サクラマスと天然のサクラマスの遺伝的変異の量. 道立水産孵化場研報, (42): 37-44.

- Sakai, M., R. Aguirrebena, and A. Nagasawa (1987): Growth analysis by scale reading of cherry salmon (*Oncorhynchus masou*) stocked a Closed-system lake "Lagoon Don Poli", southern Chile. (チリ国南部の閉鎖型湖 Lagoon Don Poli に移入されたサクラマスの鱗相による成長解析). JICA チリ国アイセン州への太平洋サケ類の導入プロジェクト報告, (18): 1-26. (英文)
- 佐々木文雄・宇藤 均・小林 喬 (1987): 積丹海域に來遊するサクラマス *Oncorhynchus masou*: Brevoort 未成魚について. 昭和 61 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(7): 96-137, 北海道さけ・ますふ化場.
- 鈴木惇悦・柿元 皓 (1987): 沿岸域におけるサクラマスの移動 (バイオテレメトリーによる測定の一例). 新潟水試研報, (12): 1-11.
- 戸田省三 (1987): 昭和 57-59 年度サクラマス幼魚の海水飼育および標識放流. 山形水試資料, (140): pp.10.
- Tsygir, V. V., and N. N. Ivankov (1987): Freshwater masu salmon *Oncorhynchus masou* from the Artemov Reservoir (the Far East). (極東の Artemov 人工湖の淡水性サクラマス). *Ichthol.*,27(4): 576-583. (ロシア語)
- 山田英明・太田博巳・山内皓平 (1987): サクラマス *Oncorhynchus masou* の銀化に伴う血中甲状腺ホルモン, エストラジオール-17 β およびテストステロン量の変化. 道立水産孵化場研報, (42): 1-11.
- Yamazaki, F. and K. Arai (1987): Chromosomes of the hybrids between masu salmon and chinook salmon. (サクラマスとマスノスケの交雑魚の染色体) 北大水産彙報, 38(1): 34-37. (英文).
- 安村 明・大竹 敦・伊勢谷修弘 (1987): 天然礁におけるサクラマス曳釣り漁場形成. 秋田水産振興センター事業報告書(昭和 60 年度): 185-193.
- 吉沢和俱・高橋麻次郎・林不二雄 (1987): 染色体操作による魚類の改良種作出研究-I ヤマメ, ニジマスの三倍体および雌性発生二倍体の誘導条件. 群馬農業研究 E 水産第 3 号: 1-9.

1986 年

- 長谷川誠三・加藤史彦 (1986): 日本海における流し網及び延縄によって漁獲されるサクラマスの価格分析. 昭和 60 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 127-133, 北海道さけ・ますふ化場.
- 平田龍善・後藤 晃・濱田啓吉 (1986): 河川におけるサクラマス当才魚 (*Oncorhynchus masou*) の二峰型体長分布. 魚類学雑誌, 33(2): 204-207.
- 泉 孝行・小出展久・神力義仁 (1986): 池産サクラマスの共食いによる初期減耗. 道立水産孵化場研報, (41): 63-69.
- 加藤文男 (1986): サクラマス群の計数・計測的形質について. 福井陸水生物会報, (6): 1-10.
- 加藤史彦・長谷川誠三 (1986): 日本海系サクラマスの資源診断. 昭和 60 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 108-114, 北海道さけ・ますふ化場.
- 加藤史彦・長谷川誠三 (1986): 日本海沖合におけるサクラマスの生物特性. 昭和 60 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 115-126, 北海道さけ・ますふ化場.
- 木曾克裕 (1986): 宮城県沿岸におけるサクラマスの生物学的情報. 昭和 60 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 176-187, 北海道さけ・ますふ化場.
- 北村隆也 (1986): 暑寒別川産サクラマス幼魚の消化管における線虫, *Cystidicoloides ephemeridarum* (Linstow, 1872) の消長および魚体への影響. 道立水産孵化場研報, (41): 79-88.

- 小谷祐一・木曾克裕・竹内 勇 (1986): 宮城県沿岸におけるサクラマス漁獲量の変動. 昭和 60 年度マリーナラン
チング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 170-175, 北海道さけ・ますふ化場.
- 黒川忠英・小島 博・宮本真人 (1986): サクラマス 0 年魚スモルトにおける退行現象とスモルト変態後の成長との
関連. 道立水産孵化場研報, (41): 39-45.
- Ma, H-F. and F. Yamazaki (1986): Characteristics of the hybrid F1 juveniles between female masu salmon,
Oncorhynchus masou, and male pink salmon, *Oncorhynchus gorbuscha*. (サクラマス雌魚とカラフトマス雄魚との
交雑魚 F1 の特性). 北大水産彙報, 37(1): 6-16. (英文).
- Ma, H-F. and F. Yamazaki (1986): Fertility of hybrids between female masu salmon, *Oncorhynchus masou*, and male
pink salmon, *O. gorbuscha*. (サクラマス雌魚とカラフトマス雄魚との交雑魚の稔性). 北大水産彙報, 37(4):
295-302. (英文).
- 真山 紘・大熊一正・野村哲一 (1986): サクラマスのスモルト化幼魚の標識放流試験 -1985 年における回帰-. 昭和
60 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 82-91, 北海道さけ・ますふ化場.
- 宮沢公明・支倉 理・大村礼司 (1986): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学的特性. 昭和 60 年度
マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 134-169, 北海道さけ・ますふ化場.
- Nakajima, M., A. Kita, and Y. Fujio (1986): Genetic features of natural and cultured populations in masu salmon
(*Oncorhynchus masou*). (サクラマスにおける野生および養殖個体群の遺伝的特徴). *Tohoku J. Agricul. Res.*
37(1,2): 31-42. (英文)
- 成田宏一・新妻賢政・佐藤 照・松本忠俊 (1986): サクラマス資源涵養研究-(1). 福島内水試事業報告書(昭和 59
年度): 44-50.
- 西村 明・北村隆也・神力義仁・太田博巳・本間正男 (1986): サクラマス耳石表面にみられる年輪様構造. 道立水
産孵化場研報, (41): 55-62.
- 尾形 博・今野 哲 (1986): タンパク質および脂質添加量の異なる飼料を給餌したサクラマス 1 才魚の成長および
スモルト出現数. 日本水産学会誌, 52(2): 313-318.
- Ogawa, K. (1986): A monogenean parasite *Gyrodactylus masu* sp. n. (Monogenea: Gyrodactylidae) of salmonid fish in
Japan. (わが国のサケ科魚類に寄生する単生類の一新種 *Gyrodactylus masu*). 日本水産学会誌, 52(6):
947-950.
- 太田博巳・神力義仁・本間正男 (1986): 等張洗卵液中でのサクラマス精子の運動について. 日本水産学会誌, 52
(4): 609-611.
- 太田博巳・神力義仁・西村 明・本間正男・松原敏幸・佐藤長倉 (1986): 突符川に放流された池産 1+スモルトサク
ラムスの降海行動. 道立水産孵化場研報, (41): 47-54.
- 大塚博正・薩美賢策・手島千里・鈴木真太郎 (1986): 吾妻川起源のヤマメの銀毛化変態と血中の甲状腺ホルモン
について. 群馬農業研究 E 水産第 2 号: 15-23.
- Okazaki, T. (1986): Genetic variation and population structure in masu salmon *Oncorhynchus masou* of Japan. (日本
産サクラマスにおける遺伝的変異性と集団構造). 日本水産学会誌, 52(8): 1365-1376. (英文)
- 岡崎登志夫 (1986): サケ科魚類 遺伝, 40(2): 34-43.
- Sakai, D. K., M. Nagata, T. Iwami, N. Koide, Y. Tamiya, Y. Ito, and M. Atoda (1986): Attempt to control BKD by
dietary modification and erythromycin chemotherapy in hatchery-reared masu salmon *Oncorhynchus masou*

- BREVOORT.(栄養強化およびエリスロマイシンによるサクラマス細菌性腎臓病(BKD)の治療). 日本水産学会誌,52(7): 1141-1147.(英文)
- 坂本博幸・河村 博・田中寿雄・永田光博 (1986): 池産サクラマス標識魚の回帰. 道立水産孵化場研報, (41): 71-78.
- 佐藤良三・渋谷隆之・阿久津梅二 (1986): 飼育水温の違いによるサクラマス 0 年魚のスモルト化. 養殖研報, (9): 21-27.
- 島津康右 (1986): チリ南部におけるサケの放流と回帰についての考察. 水産の研究, 5(6): 1986.
- 隆島史夫 (1986): ヤマメ卵巣卵数の周年変化. 日本水産学会誌, 52(2): 231-237.
- 土屋文人 (1986): ヤマメ性転換試験. 新潟県内水試研報, 13: 29-36.
- 土屋文人・岩橋正雄 (1986): サクラマス親魚の蓄養について(速報). 新潟県内水試研報, 13: 49-52.
- 土屋文人・小島将男・岩橋正雄 (1986): 温度刺激によるヤマメ染色体の倍数化について. 新潟内水試調査研報, (13): 23-28.
- Ueda, K., Y. Maeda, M. Koyama, K. Yasukawa, and T. Tokui (1986): Magnetic remanences in salmonid fish.(サケ科魚類の残留磁化). 日本水産学会誌, 52(2): 193-198.(英文)
- 山岡茂人・三浦 悟・星合愿一 (1986): 北上川支流二股川におけるサクラマス放流試験. 宮城内水試事業報告(昭和 59 年度): 30-35.
- 吉田文一・藤原 健・梶塚善弘 (1986): 池産ヤマメニ系群の成熟過程における卵巣卵の卵径分布と卵数の変化について. 宮城県内水試事業報告(昭和 59 年度): 1-10.
- 吉田文一・藤原 健・梶塚善弘 (1986): 放流池産ヤマメの宮城県沿岸域における分散, 移動について. 宮城内水試事業報告(昭和 59 年度): 36-42.

1985 年

- 本間義治 (1985): 右下顎の欠損したサクラマス. 新潟県生物教育研究会誌, 20: 37-39.
- 栗倉輝彦・坂口清次・原 武史 (1985): サクラマスの寄生虫に関する研究-VIII 広節裂頭条虫. 道立水産孵化場研報, (40): 57-67.
- 泉 孝行・笠原 昇・小島 博・伴 真俊・山内皓平 (1985): 池産サクラマスの降海行動と海水適応. 昭和 59 年度マリンランディング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 36-45. 北海道さけ・ますふ化場.
- 婦山雅秀 (1985): サケ属魚類の適応と分化に関する生態学的考察. 海洋と生物, 41: 426-432.
- 金澤宏重・原子 保 (1985): 雌性化によるスモルトの生産率の向上. 昭和 59 年度マリンランディング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 31-35. 北海道さけ・ますふ化場.
- 加藤文男 (1985): アマゴの学名と系統に関する一考察. 福井市郷土自然科学博物館研究報告, 32: 47-54. #4125
- 河村 博 (1985): 最近のサケ・マス保護水面の調査. 魚と水, (23): 15-18.
- 木曾克裕・竹内 勇 (1985): 1983 年の宮城県沿岸におけるサクラマス幼魚の食物組成(速報). 昭和 59 年度マリンランディング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 101-108. 北海道さけ・ますふ化場.

- Kitahara, T. (1985): Behavior of carotenoids in the masu salmon *Oncorhynchus masou* during anadromous migration. (サクラマス¹の成熟産卵過程におけるカロテノイドの挙動). 日本水産学会誌, 51(2): 253-255. (英文)
- 小島 博・泉 孝行 (1985): 天然サクラマス幼魚のスマルト変態過程における海水適応能の変化. 道立水産孵化場研報, (40): 77-86.
- 今野 哲・阿部 幸・高橋 進 (1985): 光及び水温調節によるスマルトの生産. 昭和58年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 23-30, 北海道さけ・ますふ化場.
- 熊崎 博・田代文男 (1985): アマゴの増殖に関する研究-XXIV. アマゴ及びヤマメのスマルト化に及ぼす飼育条件の影響について. 岐阜県水試研報, (30): 13-20.
- 黒川忠英・宮本真人・小島 博 (1985): 飼育一年目に特異的なスマルト変態をする池中継代飼育サクラマスにおける0+スマルトの出現機構および戻りの分化課程. 道立水産孵化場研報, (40): 87-94.
- 李 思忠 (Li, Sizhong) (1985): 中国産サケ科魚類の地理的分布について. 淡水魚, (11): 89-93.
- 待鳥清治・加藤史彦 (1985): サクラマス(*Oncorhynchus masou*)の産卵群と海洋生活. 北太平洋漁業国際委員会研報, (43): 1-118.
- 真山 紘・野村哲一・大熊一正 (1985): サクラマスのスマルト化幼魚の標識放流試験—1984年における回帰—. 昭和59年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 109-119, 北海道さけ・ますふ化場.
- 真山 紘・野村哲一・大熊一正・松村幸三郎 (1985): 尻別川におけるサクラマスのスマルト放流試験—1981年春放流標識魚の回帰—. さけ・ますふ化場研報, (39): 1-16.
- Moravec, F. and K. Nagasawa (1985): Some gastrointestinal nematodes of three species of Pacific salmon (*Oncorhynchus* spp.) from fresh waters in Japan. (日本の淡水産太平洋サケ類3種の胃に寄生する数種の線虫類). *Vest.cs. Spolec. Zool.*, 49: 224-233. (英文)
- 新妻賢政 (1985): ヤマメ・イワナ稚魚の食害予備試験. 福島内水試事業報告書(昭和58年度): 55-58.
- 新妻賢政・高越哲男・渡辺謙太郎・鈴木 馨・成田宏一 (1985): 阿賀川水系に於けるヤマメ放流効果調査. 福島内水試研報, (5): 17-37.
- 野村哲一・真山 紘・大熊一正 (1985): 種々の生活期におけるサクラマスの脂質含量の変化. 昭和59年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 10-22. 北海道さけ・ますふ化場.
- 尾形 博・村井武四 (1985): アミノ酸添加カゼイン飼料を給餌した小出系および尻別系サクラマス稚魚の成長の比較. 昭和59年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 52-54. 北海道さけ・ますふ化場.
- Ogata, K. and S. Egusa (1985): *Tetraonchus* infection of masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (ヤマメへの単生類 *Tetraonchus* 寄生). 魚病研究, 19(4): 215-223. (英文)
- 大池一臣 (1985): サクラマス幼魚の塩分抵抗に及ぼすコーチゾルの影響. 養殖研研報, (7): 21-27.
- 大久保進一 (1985): 保護水面のサクラマス幼魚のアイソザイム. 魚と水, (23): 19-22.
- 大熊一正・真山 紘 (1985): サクラマスの成長と鱗相に関する研究. 2. 1982年に回帰したスマルト放流魚の鱗相と成長. さけ・ますふ化場研報, (39): 17-25.
- 岡崎登志夫 (1985): 春季に能登半島沿岸に出現するサクラマスについて. 昭和59年度マリーナランディング計画プ

ログレス・レポート サクラマス(5): 63-66. 北海道さけ・ますふ化場.

佐藤良三・福田善三・阿久津梅二 (1985): サクラマス 0 年魚スモルトにおける変動. 昭和 59 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 1-9. 北海道さけ・ますふ化場.

佐藤良三・福田善三・阿久津梅二 (1985): サクラマス 0 年魚成熟雄群から生じた 1 年魚スモルト. 養殖研報, 8: 15-22.

杉若圭一 (1985): スモルト化時期におけるサクラマス幼魚の食性と摂餌生態. 道立水産孵化場研報, (40): 69-75.

高橋剛一郎 (1985): 河道の改修が魚類の生息環境に与える影響. 淡水魚, (11): 46-51.

高間浩蔵・杉浦 訓・伊勢谷善助・若山悦子・古井恒弘 (1985): サクラマスの肉質と成分に及ぼす酢じめ品製造工程の影響. 北大水産彙報, 36(3): 147-156.

戸田省三 (1985): サクラマス幼魚の海水飼育及び標識放流. 昭和 59 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 46-51. 北海道さけ・ますふ化場.

宇部 稔・山内清三 (1985): ブラウントラウトとヤマメの交雑試験-II. 岩手内水試事業報告(昭和 59 年度): 38-39.

宇部 稔・山内清三 (1985): 奥多摩系ヤマメのスモルト化と海水抵抗性. 東大海洋研大榎臨界研究センター報告, 11: 29-32.

鷲尾 達・白幡義広 (1985): サクラマス資源の大量培養技術開発. 秋田県内水指事業報告, (11): 119-124.

八木沢功・渡辺 伸 (1985): サクラマス幼魚の生産事業 釧路事業場における飼育過程(1983 年級群). 魚と卵, 155: 1-10.

Yamauchi, K., M. Ban, N. Kasahara, T. Izumi, H. Kojima, and T. Harako (1985): Physiological and behavioral changes occurring during smoltification in the masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (サクラマス幼魚のスモルト化過程に生ずる生理学的, 行動学的変化). *Aquaculture*, 45: 227-235. (英文)

1984 年

Aida, K., T. Katoh, and M. Awaji (1984): Effects of castration on the smoltification of precocious male masu salmon *Oncorhynchus masou*. (早熟サクラマス雄魚の銀化におよぼす去勢の影響). 日本水産学会誌, 50(4): 565-571. (英文)

Asai, H. and G. G. Araya (1984): Observations on the Japanese cherry salmon (*Oncorhynchus masou*) release trials with notes of a homing adult in the Simpson River. (チリ国シンプソン川における日本産サクラマス放流試験と親魚回帰). JICA, Introduction into Aysen Chile of Pacific salmon, No.11: 1-25. (英文)

粟倉輝彦 (1984): 池産サクラマスのコストア症. 魚と水, (22): 38-40.

粟倉輝彦・小島 博・田中寿雄 (1984): サクラマスの寄生虫に関する研究-VII. 池産サクラマス稚魚のコスタア症について. 道立水産孵化場研報, (39): 89-96.

支倉 理 (1984): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学特性. 昭和 58 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 85-92. 北海道さけ・ますふ化場.

広井 修 (1984): サクラマス親魚の育成技術. 昭和 58 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 120-128. 北海道さけ・ますふ化場.

- 飯野哲也・田崎志郎・田中深貴男・金沢 光 (1984): ヤマメ発眼卵埋設放流試験. 埼玉水試研報, 43: 73-76.
- 泉 孝行・小島 博・笠原 昇・伴 真俊・山内皓平 (1984): 池産サクラマス 1+スマルトの降海行動と海水適応. 道立水産孵化場研報, (39): 39-46.
- 金澤宏重・原子 保 (1984): 雌性化によるスマルトの生産率の向上. 昭和 58 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 44-48, 北海道さけ・ますふ化場.
- 片岡哲夫・本多信行・鈴木惇悦 (1984): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-VI マス類の資源量. 新潟内水試研報, (11): 1-13.
- 加藤 守 (1984): サクラマスの年齢査定法. 水産庁, 遠洋水産研究所, PP 32.
- 加藤禎一 (1984): 放流種苗としてのサクラマス. 水産の研究, 3(6): 41-45.
- 木村喬久・吉水 守 (1984): サケ科魚類の細菌性腎臓病. 月刊「養殖」臨時増刊号「難病対策」: 1-7.
- 木曾克裕 (1984): 宮城県沿岸におけるサクラマス幼魚に関する知見. 昭和 58 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 93-104, 北海道さけ・ますふ化場.
- 小島 博 (1984): 記録的大雨は川のサクラマスに何をしたか. 魚と水, (22): 5-11.
- 小島 博・喜多正広 (1984): 池中継代飼育サクラマス零歳魚の銀毛化変態と早熟雄の出現. 道立水産孵化場研報, (39): 113-121.
- 今野 哲・阿部 幸・高橋 進 (1984): 光及び水温調節によるスマルトの生産. 昭和 58 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 20-30, 北海道さけ・ますふ化場.
- 小谷祐一・木曾克裕・竹内 勇・小達和子 (1984): 宮城県沿岸におけるサクラマスの漁獲. 昭和 58 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 105-108, 北海道さけ・ますふ化場.
- 真山 紘・野村哲一・大熊一正 (1984): サクラマスのスマルト化幼魚の標識放流試験 - 1983 年における回帰 -. 昭和 58 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 109-120. 北海道さけ・ますふ化場.
- 永田光博・宮本真人・外崎 久 (1984): 河川に放流した池産サクラマス幼魚 *Oncorhynchus masou* (Brevoort) の個体群動態. 道立水産孵化場研報, (39): 1-17.
- 中村一雄 (1984): 謎の魚キザキマスについて. 淡水魚, (10): 66.
- 野村哲一 (1984): サクラマスの生理学的研究-I 筋肉内粗脂肪量について. さけ・ますふ化場研報, (38): 33-41.
- 尾形 博・大嶽信弘・新井 茂 (1984): サクラマス *Oncorhynchus masou* 稚魚に対する北洋ミール, ホールミールおよびイカミールの栄養価について. 昭和 58 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 1-8, 北海道さけ・ますふ化場.
- 大熊一正・真山 紘 (1984): サクラマスの成長と鱗相に関する研究. 1. 淡水生活期の鱗相と年齢. さけ・ますふ化場研報, (38): 25-32.
- 太田博巳・神力義仁・本間正男・松原孝博・東谷隆幸・山内皓平 (1984): 卵黄蛋白抗血清を用いた池産サクラマスの早期雌雄判定. 道立水産孵化場研報, (39): 67-74.
- 岡崎登志夫 (1984): 佐渡島沿岸におけるサクラマス幼魚の遺伝的特性及び同時に採集された降海ニジマスについて. 昭和 58 年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 57-61, 北海道さけ・ますふ化場.

- 小野里 担 (1984): サケ・マスの染色体工学と応用. 遺伝, 38(8): 17-23.
- 坂本博幸・河村 博・田中寿雄 (1984): 池産サクラマス標識魚の回帰(予報). 道立水産孵化場研報., (39): 105-111.
- 佐々木文雄・大宅伊佐人・辻 敏 (1984): 日本海北部海域における生態特性. 昭和 58 年度マリーナランテング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 62-76, 北海道さけ・ますふ化場.
- 佐藤良三・福田善三・阿久津梅二 (1984): サクラマス 0 年魚におけるスマルトと戻り. 昭和 58 年度マリーナランテング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 9-19, 北海道さけ・ますふ化場.
- 妹尾優二 (1984): 川を覗く -川の構造と魚類生息-. 北海道開発コンサルタント株式会社技報, (9): 137-151.
- 杉若圭一・小島 博 (1984): 厚田川におけるサクラマス幼魚のスマルト化に及ぼす生息密度の影響. 道立水産孵化場研報, (39): 19-37.
- Takahashi, G and S. Higashi (1984): Effects of channel alteration on fish habitat. (河道の改修が魚類の生息環境に与える影響). 陸水学雑誌, 45(3): 178-186.(英文)
- Tanaka, M., M. Yoshimizu, and T. Kimura (1984): Oncorhynchus masou virus: pathological changes in masu salmon (*Oncorhynchus masou*), chum salmon (*O. keta*) and coho salmon (*O. kisutch*) fry infected with OMV by immersion method.(Oncorhynchus masou virus (OMV)人工感染サクラマス, サケ, ギンザケ稚魚の病理組織学的所見). 日本水産学会誌, 50(3):431-437.(英文)
- 戸田省三 (1984): サクラマス幼魚の海水飼育及び標識放流. 昭和 58 年度マリーナランテング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 77-84, 北海道さけ・ますふ化場.
- 上田一夫・岡 良隆・北村章二 (1984): スマルトの母川記銘の機構. -サクラマスの嗅上皮表面構造の定量的解析-. 昭和 58 年度マリーナランテング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 54-56, 北海道さけ・ますふ化場.
- 渡辺良朗 (1984): サクラマスのふ化後の発育過程における腸上皮の発達. 東北水研研報, (46): 1-14.
- 山岡茂人・三浦 悟 (1984): 大河川再生産効率向上調査. 宮城内水試事業報告(昭和 57 年度): 55-61.
- 山岡茂人・三浦 悟・星合愿一 (1984): 大河川再生産効率向上調査. 宮城内水試事業報告(昭和 59 年度): 71-86.
- Yamauchi, K., H. Kagawa, M. Ban, N. Kasahara, and Y. Nagahama (1984): Changes in plasma estradiol-17 β and 17 α , 20 β -dihydroxy-4-pregnen-3-one levels during final oocyte maturation of the masu salmon *Oncorhynchus masou*. (サクラマスの卵成熟に伴う血中エストロダイオール 17 β および 17 α , 20 β -ジヒドロキシ-4-プレグネン-3-オン量の変動(短報)). 日本水産学会誌, 50(12): 2137.(英文)
- Yamauchi, K., N. Koide, S. Adachi, and Y. Nagahama (1984): Changes in seawater adaptability and blood thyroxine concentrations during smoltification of the masu salmon, *Oncorhynchus masou*, and the amago salmon, *Oncorhynchus rhodurus*. (サクラマスとアマゴのスマルト化にともな海水適応性と血中サイロキシン濃度の変化). *Aquaculture*, 42(1984):247-256.(英文)
- 山崎文雄 (1984): スマルト化にともなう内分泌腺の変化. -スマルトの間腎腺と雌雄性および遺伝性-. 昭和 58 年度マリーナランテング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 49-53. 北海道さけ・ますふ化場.
- 吉田文一・梶塚善弘 (1984): 池中飼育サクラマスのスマルト化と再生産関連形質について. 昭和 58 年度マリーナランテング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 31-43, 北海道さけ・ますふ化場.
- 吉田文一・梶塚善弘 (1984): さくらます増殖事業. 宮城内水試事業報告(昭和 59 年度): 43-45.

1983 年

- 粟倉輝彦・小島 博・杉若圭一・野村哲一 (1983): サクラマスの子生虫に関する研究-V. 幽門垂に寄生する球孢子虫 *Eimeria truttae* について. 道立水産孵化場研報., (38): 33-38.
- 粟倉輝彦・野村哲一 (1983): サクラマスの寄生虫に関する研究-VI. 消化管に寄生するヘミウルス類について. 道立水産孵化場研報., (38): 39-46.
- 原 武史 (1983): サクラマスの生態からみた広節裂頭条虫の生活史. 養殖研ニュース, (6): 5-7.
- 原子 保 (1983): 日本海北部河川の降海特性. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 63-81, 北海道さけ・ますふ化場.
- 本多信行・片岡哲夫・星野正邦・関 泰夫 (1983): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-IV. 北の又川に遡上するマス類の資源量. 新潟内水試研報, (10): 1-12.
- 本多信行・片岡哲夫・星野正邦・関 泰夫 (1983): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-V. 湖産サクラマスの成長及び成熟. 新潟内水試研報, (10): 13-20.
- 梶塚善弘・吉田文一 (1983): サクラマス増殖事業. 宮城内水試事業報告(昭和 56 年度): 22-29.
- 加藤史彦 (1983): 新潟県および富山県沿岸におけるサクラマス幼魚の生態. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 106-115, 北海道さけ・ますふ化場.
- 加藤禎一 (1983): 池中飼育サクラマスの成熟とスモルト化. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 1-12, 北海道さけ・ますふ化場.
- 河村 博 (1983): サケ・マス保護水面の調査 一日高地方のサクラマス一. 魚と水, (21): 1-8.
- 木村喬久・吉水 守・田中 真 (1983): サケ科魚類の稚仔魚期における OMV 感受性. 魚令と魚種間による相違. 魚病研究, 17(4): 251-258.
- 小林哲夫 (1983): サクラマスの資源培養. 最新版つくる漁業(水産庁監修): 623-636.(社)資源協会.
- 小島 博 (1983): 河川の天然サクラマス幼魚血清ナトリウム濃度の変動. 道立水産孵化場研報., (38): 75-84.
- 今野 哲・中江三郎・高橋 進 (1983): 飼育条件調節によるスモルト化促進に関する研究-III. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 26-50, 北海道さけ・ますふ化場.
- 真山 紘・大熊一正 (1983): 河川滞留期サクラマス幼魚の摂餌生態. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 97-102, 北海道さけ・ますふ化場.
- 真山 紘・大熊一正・野村哲一 (1983): 1981 年春に尻別川に放流された銀毛化サクラマス標識幼魚の回帰. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 139-146, 北海道さけ・ますふ化場.
- Morisawa, M., K. Suzuki, and S. Morisawa (1983): Effects of potassium and osmolality on spermatozoan mortality of salmonid fishes. *J. Exp. Biol.*, 107: 105-113.(英文). #3961
- 野村哲一 (1983): サケ(*Oncorhynchus keta*), サクラマス(*O. masou*), カラフトマス(*O. gorbuscha*)親魚からの *Aeromonas salmonicida* の検出 (資料). さけ・ますふ化場研報, (37): 63-65.
- 野村哲一・大熊一正 (1983): 天然スモルトの生理生態. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 82-91, 北海道さけ・ますふ化場.

- 尾形 博・新井 茂・能勢建嗣 (1983): サクラマス稚魚の飼料開発に関する基礎的研究 -1980-1982 のとりまとめ-。昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 51-62, 北海道さけ・ますふ化場。
- 大池一臣 (1983): サクラマス稚魚の塩分抵抗と Chloride Cell の果す役割。養殖研報, 4: 31-39.
- 大渡 斉 (1983): 県内の魚道とその効果調査。埼玉水試研報, (42): 117-145.
- 岡崎登志夫 (1983): サクラマス河川集団の遺伝学的変異性。昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 131-138, 北海道さけ・ますふ化場。
- 奥本直人・島田 武・鹿間俊夫 (1983): サクラマス幼魚のスマルト化促進に関する研究。昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 18-25, 北海道さけ・ますふ化場。
- Sakai, D. K. (1983): The assessment of the health condition of salmonids by non-specific haemolytic (SH50) activity of serum. (血清の非特異的溶血 (SH50) 活性によるサケ・マス類の健康状態の評価法)。日本水産学会誌, 49(10): 1487-1491. (英文)
- Sano, T., H. Fukuda, N. Okamoto, and F. Kaneko (1983): Yamame Tumor Virus: lethality and oncogenicity. (ヤマメ腫瘍ウイルス: 致死性と腫瘍原性)。日本水産学会誌, 49(8): 1159-1163. (英文)
- 佐々木文雄・大宅伊佐人・苫米地洋文 (1983): 沿岸滞泳期の摂餌特性。昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 116-130, 北海道さけ・ますふ化場。
- 隆島史夫 (1983): ヤマメ夏卵の生産方法。月刊「養殖」, 1983 年 9 月号: 106-108
- 田崎志郎・金澤 光・田中深貴男 (1983): ヤマメ発眼卵の大きさの違いによるふ化と餌付け状況。埼玉水試研報, (42): 12-16.
- 利重正雄・吉村高男 (1983): ヤマメ・アマゴのパーマークについて。淡水魚, (9): 84-89.
- 宇部 稔・山内清三 (1983): 発眼卵埋設放流試験-II。岩手内水試事業報告(昭和 58 年度): 28-33.
- 上田一夫・岡 良隆 (1983): スマルトの母川記銘の機構 -サクラマスの嗅上皮の構造-。昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 103-105, 北海道さけ・ますふ化場。
- 鷲尾 達 (1983): 光処理によるサクラマス幼魚のスマルト化について。秋田県内水指事業報告, (10): 175-181.
- 山岸 宏・中村 将 (1983): 稚魚期の攻撃性に性差はあるのか。サクラマス(*Oncorhynchus masou*) の場合。動物学雑誌, 92: 43-50.
- 山内皓平・伴 真俊・津田 要・笠原 昇・泉 孝行 (1983): 種々のステロイドホルモンおよび生殖腺刺激ホルモンによる池産サクラマス *Oncorhynchus masou* 卵母細胞の生体外成熟誘起。道立水産孵化場研報, (38): 85-91.
- 山崎文雄 (1983): 人工スマルトの促進機構の解明。甲状腺と間腎組織の関与。昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 13-17, 北海道さけ・ますふ化場。
- Yamazaki, F. (1983): Sex control and manipulation in fish. (魚類における性統御)。Aquaculture, 33: 329-354. (英文)

1982 年

- 新谷康二 (1982): 池中養殖サクラマスによる種苗生産事業の現況。魚と水, (20): 1-7.
- 栗倉輝彦・小島 博・杉若圭一・小川俊文 (1982): サクラマスの寄生虫に関する研究-III 脊髄に寄生する粘液胞子虫 *Myxobolus* について。道立水産孵化場研報, (37): 37-47.

- 粟倉輝彦・田中 真・吉水 守 (1982): サクラマスに寄生する微胞子虫 *Loma* について. 道立水産孵化場研報., (37): 49-55.
- 原子 保 (1982): 0+歳サクラマスの成長パターンと1+歳サクラマスの降海特性. 昭和56年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(2): 41-44, 北海道さけ・ますふ化場.
- Honda, H. (1982): On the female sex pheromones and courtship behaviour in the salmonids, *Oncorhynchus masou* and *O. rhodurus*. (ヤマメとアマゴの雌魚の性フェロモンと求愛行動について). 日本水産学会誌, 48: 47-49. (英文)
- 本田晴朗 (1982): ヤマメとアマゴの性フェロモンと求愛行動について. 淡水魚, (8): 79-81.
- 本間義治・関 泰夫 (1982): 新潟地方のヤマメは定着するか. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 60-65.
- 位田俊臣 (1982): 茨城県の無班ヤマメについて. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 112-114.
- 位田俊臣 (1982): 茨城県内水面のサケ科魚類の分布について. 茨城内水試研報, 19: 77-85.
- 石田カ三 (1982): ヤマメ釣りにおけるスマルト化稚魚の混獲率について. 昭和56年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(2): 45-47, 北海道さけ・ますふ化場.
- Jeon, S.R. (田 祥麟) (1982): 韓国の山川魚 (San-cheon-eo). 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 141-142.
- 金澤 光・田崎志郎・田中深貴男 (1982): ヤマメ稚魚の選別試験. 埼玉水試研報, (41): 12-17.
- 金澤 光・田崎志郎・田中深貴男 (1982): ヤマメ0年魚養成における成熟抑制試験. 埼玉水試研報, (41): 84-88.
- 加藤史彦 (1982): 日本海におけるサクラマスの分布・回遊と生態. 海洋と生物, (21): 286-291.
- 加藤史彦 (1982): 新潟沿岸におけるサクラマス幼魚の生態. 昭和56年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(2): 48-52, 北海道さけ・ますふ化場.
- 加藤憲司 (1982): 釣魚としてのヤマメ・アマゴ -その資源管理への道-. 淡水魚, 増刊 ヤマメ・アマゴ特集, 48-57.
- 加藤禎一 (1982): 放流用サクラマスのスマルト化の必要性. 昭和55年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(2): 1-3, 北海道さけ・ますふ化場.
- 加藤禎一 (1982): 池中飼育サクラマスの生後1年目の雄の成熟とスマルト化の関係. 昭和56年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(2): 4-11, 北海道さけ・ますふ化場.
- 河村宗郎 (1982): サケ科魚類の異種(属)間交雑種の体紋変異 - カワマス×ヤマメ. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 117-118.
- 今野 哲・中江三郎 (1982): 飼育条件調節によるスマルト化促進に関する研究. 昭和55年度マリーナランティング計画プログレスレポート サクラマス (1): 29-33, 北海道さけ・ますふ化場.
- 今野 哲・中江三郎 (1982): 飼育条件調節によるスマルト化促進に関する研究-II. 昭和56年度マリーナランティング計画プログレス・レポート サクラマス(2): 22-40, 北海道さけ・ますふ化場.
- 久保達郎 (1982): ヤマメ・アマゴ研究の現状. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 197-207.
- 松原弘至 (1982): ヤマメ・アマゴの分布の人為的攪乱. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 87-91.
- 松野隆男 (1982): アマゴ, ヤマメの体色. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 125-129.

- 真山 紘・大熊一正・野村哲一 (1982): 河川滞留期サクラマス幼魚の生態調査(1984年度の結果). 昭和56年度マリーナランディング計画プロGRESS・レポート サクラマス(2): 60-69, 北海道さけ・ますふ化場.
- 長澤和也 (1982): ヤマメ・サクラマスの寄生虫. 淡水魚, 増刊 ヤマメ・アマゴ特集, 134-137.
- 新妻賢政・成田宏一・鈴木 馨・渡辺謙太郎 (1982): ヤマメの禁漁河川設定効果調査. 福島内水試事業報告(昭和56年度): 37-50.
- 新妻賢政・成田宏一・鈴木 馨・渡辺謙太郎 (1982): 阿賀川水系溪流魚等増殖事業にともなうヤマメ放流効果調査. 福島内水試事業報告(昭和56年度): 55-62.
- 尾形 博・新井 茂・能勢建嗣 (1982): サクラマス稚魚の飼料開発に関する栄養学的研究-II. 精製カゼイン飼料への結晶アミノ酸の補足効果について. 昭和56年度マリーナランディング計画プロGRESS・レポート サクラマス(2): 16-21, 北海道さけ・ますふ化場.
- 尾形 博・新井 茂・能勢建嗣 (1982): サクラマス稚魚の飼料開発に関する栄養学的研究-I. サクラマス発眼卵および魚体のアミノ酸組成について. 昭和56年度マリーナランディング計画プロGRESS・レポート サクラマス(2): 12-15, 北海道さけ・ますふ化場.
- 大江文雄 (1982): 日本産サケ科魚類の化石について. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 148-154.
- 長内 稔 (1982): 湖沼のサクラマス. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 92-96.
- 頼 茂 (1982): 大畑川のスギノコ. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 97-103.
- Rufrov, F. N. (ルフロフ, エフ. エン.) (1982): 太平洋サケ・マスの生活. (和訳: 118pp, 日本さけ・ます資源研究調査会, 1983)
- 斉藤裕也 (1982): 酒匂川・箱根周辺のヤマメとアマゴ. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 84-87.
- 杉山秀樹 (1982): 河川遡上サクラマスの採捕・蓄養と増殖. 秋田県内水指事業報告, (10): 128-134.
- 鈴木 亮 (1982): ヤマメ, アマゴの雑種. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 74-78.
- 立川 互 (1982): アマゴとヤマメの交雑種 F1, F2 ならびに退交雑種の形質について. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 82-84.
- 角 祐二 (1982): 富山県沿岸におけるサクラマス幼魚の生態. 昭和56年度マリーナランディング計画プロGRESS・レポート サクラマス(2): 53-59, 北海道さけ・ますふ化場.
- 宇部 稔 (1982): サクラマス資源実態調査. 岩手内水試事業報告(昭和57年度): 38-41.
- 宇部 稔 (1982): 河川におけるサクラマス幼魚(ヒカリ)調査. 岩手内水試事業報告(昭和57年度): 41-42.
- 宇部 稔・山内清三 (1982): 発眼卵埋設放流試験. 岩手内水試事業報告(昭和57年度): 56-62.
- 宇部 稔・山内清三・本田是人・丹内光義・小笠原一夫 (1982): サクラマス溯上親魚調査. 岩手内水試事業報告(昭和57年度): 43.
- 渡辺謙太郎・新妻賢政・鈴木 馨・成田宏一 (1982): 奥川における放流ヤマメ及びニジマスの回収率. 福島内水試事業報告(昭和56年度): 68-71.

1981年

- 粟倉輝彦・小島 博・杉若圭一 (1981): サクラマスの子生虫に関する研究-II 腎臓に寄生する胞子虫について. 道立水産孵化場研報., (36): 65-73.
- 粟倉輝彦・小島 博・杉若圭一 (1981): サクラマスの子生虫に関する研究-I. 淡水生活期における *Tetraonchus* (単生類)の鰓寄生. 道立水産孵化場研報., (36): 57-63.
- 本多信行・片岡哲夫・星野正邦・網田健次郎 (1981): 河川勾配が急な水域でのヤマメの分散と定着についての観察. 新潟内水試研報, (9): 1-9.
- 本多信行・片岡哲夫・星野正邦・関 泰夫 (1981): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-II. 湖産サクラマスの産卵溯上生態について. 新潟内水試研報, (9): 16-23.
- 位田俊臣・岡本成司・大川雅登・佐藤陽一 (1981): 無紋ヤマメについて. 水産育種, (6): 34-36.
- 石田昭夫 (1981): 稚魚の河川生活と資源培養の問題 人工ふ化稚魚について. 昭和 55 年度マリーナランチング計画プログレスレポート サクラマス (1): 38-42, 北海道さけ・ますふ化場.
- 石川県内水試 (1981): サクラマス増養殖試験-II (再捕調査について). 石川県内水試報告, (7): 111-115.
- 加藤史彦 (1981): 日本海におけるサクラマス. 昭和 55 年度マリーナランチング計画プログレスレポート サクラマス (1): 10-14, 北海道さけ・ますふ化場.
- 加藤史彦 (1981): 沿岸滞泳期の移動. 昭和 55 年度マリーナランチング計画プログレスレポート サクラマス (1): 50-52, 北海道さけ・ますふ化場.
- 加藤禎一 (1981): サクラマスの種苗生産技術の現状と問題点. 昭和 55 年度マリーナランチング計画プログレスレポート サクラマス (1): 15-18, 北海道さけ・ますふ化場.
- 加藤禎一 (1981): 生後 1 年目のサクラマスの成熟およびスモルト化について. 昭和 55 年度マリーナランチング計画プログレスレポート サクラマス (1): 19-22, 北海道さけ・ますふ化場.
- Kimura, T., M. Yoshimizu, and M. Tanaka (1981): Studies on a new virus (OMV) from *Oncorhynchus masou* -II. Oncogenic nature. (サクラマスから得られた新たなウイルス(OMV)-II. 腫瘍原性について). 魚病研究, 15(3-4): 149-153. (英文)
- Kimura, T., M. Yoshimizu, M. Tanaka, and H. Sannohe (1981): Studies on a new virus (OMV) from *Oncorhynchus masou* -I. Characteristics and pathogenicity. (サクラマスから得られた新たなウイルス(OMV)-I. 特性と病原性について). 魚病研究, 15(3-4): 143-147. (英文)
- 小林哲夫 (1981): サクラマス人工ふ化事業について. 昭和 55 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(1): 34-37, 北海道さけ・ますふ化場.
- 小島 博 (1981): サクラマスの増殖と河川の収容力. 魚と水, (19): 15-17.
- 小島 博 (1981): ホルマリン保存したサクラマス幼魚標本に対する水洗の影響. 道立水産孵化場研報., (36): 75-81.
- 待鳥清治 (1981): サクラマス回遊模型の試案. 昭和 55 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(1): 1-9, 北海道さけ・ますふ化場.
- 丸山 隆 (1981): ヤマメ *Salmo (Oncorhynchus) masou masou* (Brevoort)とイワナ *Salvelinus leucomaenis* (Pallas)の比較生態学的研究 I. 由良川上谷における産卵床の形状と立地条件. 日本生態学会誌, 31: 269-284.

- 真山 紘・鈴木義秀 (1981): サクラマス幼魚の摂餌生態. 昭和 55 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(1): 43-49, 北海道さけ・ますふ化場.
- Nagasawa, K. and S. Egusa (1981): *Echinorhynchus cotti* Yamaguti, 1935 (Acanthocephala: Echinorhynchidae) in fish of the Kanita River, with a note on the life cycle. (青森県蟹田川産魚類に寄生するカジカコウトウチュウとその生活環). *Jap. J. Parasit.*, 30(1): 45-49. (英文)
- 長沢静雄・佐藤 脩・佐野秋夫・高田寿治 (1981): ヤマメの白内障に関する研究. 福島県内水試研報, (4): 25-28.
- Nakamura, M. (1981): Feminization of masu salmon *Oncorhynchus masou* by administration of estradiol-17 β . (サクラマスの雌性ホルモン処理による雌化について). 日本水産学会誌, 47(11): 1529. (英文)
- 野村 哲一・木村喬久 (1981): 北海道内の主要河川に溯上するサケ(*Oncorhynchus keta*), カラフトマス(*O. gorbuscha*), サクラマス(*O. masou*), ヒメマス(*O. nerka*)親魚における *Aeromonas salmonicida* の保有状況. 魚病研究, 16(2): 69-74.
- 斎藤昭平 (1981): マス釣漁業の漁具, 漁法の導入について. 水産技術と経営, 1981 年 8 月号, 59-61.
- Sakai, D. K. (1981): Heat inactivation of complements and immune hemolysis reactions in rainbow trout, masu salmon, coho salmon, goldfish and tilapia. (ニジマス, サクラマス, ギンザケ, キンギョおよびテラピア補体の非働化と免疫溶血反応). 日本水産学会誌, 47(5): 565-571. (英文)
- 佐古 浩・原 武史 (1981): ヤマメに接種された *Aeromonas salmonicida* の増殖に及ぼす水温の影響. 養殖研報, 2: 73-81.
- 佐々木文雄 (1981): 積丹半島に來遊するサクラマス(*Oncorhynchus masou* Brevoort) 未成魚について. 第 1 報 標識放流試験からみた回遊. 北水試月報, 38(3): 87-101.
- 佐々木文雄 (1981): 積丹海域に來遊するサクラマス(*Oncorhynchus masou*: Brevoort) 未成魚について. 北水試月報, 38: 102-119.
- 関 泰夫・金子文与・富永佑次 (1981): サクラマスの増殖に関する研究-III. 池産銀毛ヤマメの魚野川における降下について. 新潟内水試研報, (9): 10-15.
- 杉若圭一・田中寿雄・笠原 昇・新谷康二 (1981): 標識放流からみた 1+池産サクラマススモルトの回遊. 道立水産孵化場研報, (36): 11-31.
- 高橋剛一郎 (1981): 知床半島における河川工事・河川工作物と魚類の保護について. 知床半島自然生態系総合調査報告書・動物編, 28-42.北海道.
- 田中 実・八木沢功・島田 武 (1981): サクラマスのスモルト化について. 昭和 55 年度マリーナランディング計画プログレスレポート サクラマス (1): 23-28, 北海道さけ・ますふ化場.
- 宇藤 均 (1981): サクラマス *Oncorhynchus masou* BREVOORT の生活史と生態分岐. 北海道大学博士論文. #4291
- 安江安宣 (1981): 故大島正満博士による台湾大甲溪産サラマオマス発見に関する史的考察. 淡水魚, 別冊 大島正満サケ科魚類論集, 222-232.

1980 年

- 粟倉輝彦 (1980): 北海道におけるサケ・マスの寄生虫症について. 魚病研究, 14(4): 207-209.

- 本多信行・鈴木惇悦・網田健次郎・片岡哲夫・江村 清 (1980): 奥只見湖における湖産サクラマス再生産に関する研究-I 湖産サクラマスを中心とする魚類の垂直分布と食性について. 新潟内水試研報,(8): 5-15.
- 伊藤 繁 (1980): サクラマスの増殖を考える. 魚と水, (18): 1-4.
- 小林哲夫 (1980): 増殖事業におけるサケ・マスの疾病. 魚病研究, 14(4): 151-157.
- 小島 博・杉若圭一 (1980): 厚田川におけるサクラマス幼魚の生産量と資源量. 道立水産孵化場研報, (35): 35-43.
- 久保達郎 (1980): 北海道のサクラマス生活史に関する研究. さけ・ますふ化場研報,(34): 1-95.
- 松野隆男・勝山政明・永田誠一 (1980): 魚類のカロテノイドに関する比較生化学的研究-XIX シロザケ, ギンザケ, ビワマス, サツキマス, サクラマス, ヒメマスのカロテノイド. 日本水産学会誌, 46(7): 879-884.
- 松野隆男・永田誠一・勝山政明・松高寿子・眞岡孝至・秋田俊子 (1980): 魚類のカロテノイドに関する比較生化学的研究-XVIII 養殖イワナ, カワマス, レークトラウト, ヤマメ, アマゴ, ニジマス, ブラウントラウトについて. 日本水産学会誌, 46(4): 473-478.
- 大熊一正・佐々木正吾・佐藤行孝 (1980): 人工ふ化サクラマス稚魚の河川放流に関する研究-8 報 放流条件を異にした場合の分散、定着に関する二、三の観察. さけ・ますふ化場研報, (34): 97-103.
- 大渡 斉・田中深貴男 (1980): ヤマメ発眼卵の河川埋設ふ化試験. 埼玉水試研報, (39): 78-82.
- 関 泰夫・金子文与 (1980): サクラマスの増殖に関する研究-II. 魚野川で獲られたヤマメ(*Oncorhynchus masou*)について. 新潟内水試研報,(8): 1-4.
- 杉若圭一・小島 博 (1980): 厚田川における降海型サクラマス幼魚に関する研究 II. 1979 年降海群の年齢と生態. 道立水産孵化場研報, (35): 45-52.
- 鈴木 栄・大渡 斉・田中深貴男 (1980): ヤマメ親魚の採卵期における IHN ウイルスと *Aeromonas salmonicida* の保有状況調査(資料). 埼玉水試研報, (39): 68-69.
- 田中深貴男・鈴木 栄・大渡 斉 (1980): ヤマメの適正な餌付方法について(資料). 埼玉水試研報, (39): 1-6.
- 内橋 潔・飯高勇之助・森永 勤 (1980): *Oncorhynchus* における主要生態の分化について. 近畿大学農学部紀要, 13: 37-49.
- Watanabe, T., K. Tanaka, O. Tamura, Y. Nakagawa, and K. Takahashi (1980): Fine structure of the normal and virus-infected cells derived from the kidney of yamame, *Oncorhynchus masou*. (正常ならびにウイルス感染ヤマメ腎由来細胞の微細形態). 日本水産学会誌, 46(4): 401-406. (英文)
- Watanabe, Y. and J. Yamada (1980): Water, electrolytes, and soluble proteins in cataractous eye lenses of masu salmon. (サクラマスにおける白内障の眼球レンズ中の水分, 電解質および水溶性蛋白). 北大水産彙報, 31(4): 297-305. (英文)
- Watanabe, Y. and J. Yamada (1980): Histological characteristics of cataractous eye lenses in cultured masu salmon. (飼育サクラマスにおける白内障眼球レンズの組織学的特徴). 北大水産彙報, 31(4): 290-296. (英文)